

# 第19回 ジャパンオープンハンドボールトーナメント 戦評報告書

競技日	平成26年 8月 9日	試合番号	E-キ
種別・回戦	女子・1回戦	会場	岩出市立体育館

ほくばいさんえふかい 白梅三英英会		シーコルズ		得点チェック欄		
21	9	前半	18	前半	<input checked="" type="checkbox"/>	
	12	後半	15	後半	<input checked="" type="checkbox"/>	
		第1延長 前半		33	第1延長	<input type="checkbox"/>
		第1延長 後半			第2延長	<input type="checkbox"/>
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>

戦評	戦評委員氏名	伊藤博志
----	--------	------

シーコルズからスローオフ。前半5分までは、両チーム一進一退の攻防が続いた。シーコルズは9番永田の個人技からの得点で流れをつかみ、連続して得点を入れ、徐々に点差をひろげた。前半11分、白梅三英英会14番里村がポストを絡めながらディフェンスの間から得点を決める。前半18分白梅三英英会10番長谷部が警告を受け、これを機にシーコルズが連続速攻で点差をひろげ、18対9でシーコルズがリードして前半を終了する。

後半開始早々にシーコルズは8番永田と17番新城が警告を受け、白梅三英英会13番菅原が7mスローを連続して決め、勢いを付けたかにみえたが、後半2分シーコルズ7番瑞慶覧がサイドシュートを決めて、白梅三英英会の勢いを止めた。後半10分からは、シーコルズが流れを掴み、連続で得点を決め点差を広げる。後半17分から白梅三英英会は12番駿河の好セーブによりディフェンスが固くなり始めたが、前半と後半の連続得点でリードしたシーコルズが33対21で勝利した。

送信担当記録委員	坂中茂亮
----------	------